

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する事項

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
器具備品及びソフトウェア・・・定額法によっている。
- (3) 消費税の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	49,519,352	41,794	0	49,561,146
小 計	49,519,352	41,794	0	49,561,146
特定資産				
投資有価証券	500,007,764	62,391	0	500,070,155
特定定期預金	13,837,875	0	0	13,837,875
小 計	513,845,639	62,391	0	513,908,030
合 計	563,364,991	104,185	0	563,469,176

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	49,561,146	(49,561,146)	(0)	(0)
小 計	49,561,146	(49,561,146)	(0)	(0)
特定資産				
投資有価証券	500,070,155	(500,070,155)	(0)	(0)
特定定期預金	13,837,875	(13,837,875)	(0)	(0)
小 計	513,908,030	(513,908,030)	(0)	(0)
合 計	563,469,176	(563,469,176)	(0)	(0)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
メダル刻印原型	300,000	299,999	1
ソフトウェア	183,600	168,300	15,300
合 計	483,600	468,299	15,301

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。
(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
20年利付国債（第122回）	49,561,146	59,085,000	9,523,854
第483回 関西電力社債	99,988,752	100,470,000	481,248
第5回クレディ・アグリコル・エス・エー円貨社債	100,468,750	100,866,000	397,250
第25回 三菱東京UFJ銀行社債（劣後特約付）	99,976,291	100,616,000	639,709
20年利付国債（第61回）	99,813,908	103,390,000	3,576,092
20年利付国債（第120回）	99,822,454	115,877,000	16,054,546
合 計	549,631,301	580,304,000	30,672,699

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄付金の振替額（財団管理費用）	8,000,000
合 計	8,000,000